

課題

【算数】二つの数量の関係（割合）について考察することが苦手

手立て

問題場面から、「基準量」「比較量」「割合」の関係を、自分にとって分かりやすい図をかいて数量の関係を捉え、式を立てるよう指導する。

具体例

POINT① 割合として表される数量に関わる生活体験を豊かにする。

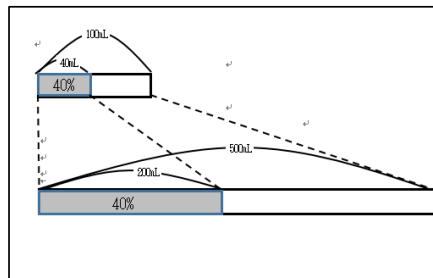
- 「基準量」や「比較量」は変わっても、「割合」は変わらないことを確かめる。
- ・飲み物を実際に何等分かして、飲み物の量、果汁の量をそれぞれ求め、それらを使って果汁の割合を求めていく。
- ・生活体験の中で、ジュースを分けたときに味（濃さ）が変わらないのは、割合が変わらないことに気付く。

例) 果汁 30% のジュース
1200mL を 4 等分する。
1 人分の果汁の割合は？

飲み物の量	果汁の量	割合
1200mL	360mL	30%
600mL	180mL	30%
300mL	90mL	30%

POINT② 「日常の具体的な場面」、「図や表」、「数と式」を相互に関連付けて、割合について理解できるようにする。

- 果汁の割合について、自分にとって分かりやすい図をかいて、数量の関係を捉える。
- ・線分図、数直線、関係図、表などを使って、果汁の割合と飲み物の量、果汁の量の関係を捉える。
- ・果汁 40% とは、飲み物の量 100mL だったら、果汁の量が 40mL になるなど具体的な量に置き換えて考える。



POINT③ 割合を用いる際、比例の関係を前提にしていることを理解できるようにする。

- 飲み物の量は、果汁の量に比例することに気付く。
- ・果汁の量と飲み物の量の表をつくり、果汁の量が 2 倍、3 倍になると、飲み物の量も 2 倍、3 倍になることを確認する。
- ・表から、(果汁の量) × (決まった数) = (飲み物の量) になることを確認する。

果汁の量(mL)	30	60	90	...	180
飲み物の量(mL)	120	240	360	...	?

2倍 3倍 6倍

果汁の量(mL)	30	60	90	...	180
飲み物の量(mL)	120	240	360	...	?

4倍